

発言通告書（総括表）

令和4年第1回定例会 代表質問

No.	発言者	発言事項	発言要旨	答弁を 求める者
1	永田議員 (自民)	令和4年度予算案について 基本構想改定について 新型コロナウイルス感染症について DX推進について 時代、地域特性に合わせたまちづくりについて	コロナ後に向けた地域経済、区民生活を支える具体策はあるか。予算執行率80%台が続く状況で精度についての認識を問う。 10年の計画期間では変化する社会情勢に対応できない。基本計画、予算編成との整合性、改定によってどのような将来像を掲げるのか。 感染者は減少傾向にあるものの警戒が必要な状況が続いている。3回目のワクチン接種推進、保健所の体制強化について問う。 全庁LANシステムリプレイスによる内部の効率化は分かるが、区民にとって何が変わるのか。マイナンバーカードの普及と利活用について問う。 公開空地を活用した民間事業者と連携した街並みづくり、旧耐震マンションの建て替え促進について問う。	区長 関係理事者
2	木村議員 (共産)	(1)オミクロン株の感染拡大から命を守る対策を (2)コロナ危機からみえてきたまちづくりの方向性を問う (3)住宅施策について	①重症者と比較して死者が多いことがオミクロン株の感染拡大の特徴となっている。区が確保した病床数で十分に対応できるのか。医療現場の声をつかみ、必要に応じて財政支援を ②保健所の抜本的な職員増を求める。そのために国に対し国費投入を求めよ。 区長は招集挨拶で「コロナ禍にある今、…、変革の機会が訪れていると確信している」と述べた。はたしてまちづくりのあり方も「変革」できるのか、3つの物差しで問う。 ①土地の高度利用という規制緩和型の再開発の転換を ②スクラップ&ビルドから長寿命化へ ③住民の合意形成を大切にするまちづくりへ 区の住宅施策は、2000年代以降、公共住宅整備から「住宅ストックの有効活用や住宅市場の活用」へシフトした。それ以降、高家賃の民間住宅の供給は増えるが、低所得世帯が住める住宅は激減している。 公共住宅の供給と家賃補助制度の拡充を求める。	区長 教育 関係理事者

発言通告書（総括表）

令和4年第1回定例会 代表質問

No.	発言者	発言事項	発言要旨	答弁を 求める者
2	木村議員 (共産)	(4)子どもにやさしいまちづくりを	子どもの権利条約が述べるように、遊びは子どもの権利である。遊び場空間の減少は政治の責任に他ならない。遊び場の環境整備と子どもにやさしい道づくりを求める。	区 長 教 育 長 関 係 理 事 者